

(4) 職種別・経験期間別死傷者数

職 種	経験期間										合 計
	一 カ 月 以 下 の 者	一 カ 月 を 超 え 三 カ 月 以 下	三 カ 月 を 超 え 六 カ 月 以 下	六 カ 月 を 超 え 一 年 以 下	一 年 を 超 え 二 年 以 下	二 年 を 超 え 五 年 以 下	五 年 を 超 え 一 〇 年 以 下	一 〇 年 を 超 え 二 〇 年 以 下	二 〇 年 を 超 え る 者	分 類 不 能	
清掃作業員	78	78	72	202	192	365	201	142	6	52	1,388
環境衛生管理作業員	3	9	6	15	13	33	16	17		2	114
設備の運転作業員	1	2			9	4	6	6		3	31
建物・設備の点検整備作業員	4	3	4	9	19	21	25	16	4	2	107
保安・警備員	1	3	6	15	11	23	19	4		4	86
建物・施設管理人	2	2	1	7	10	3	7	4		2	38
管理サービス係員		2	2	1	1	2	2	1		1	12
事務・技術員	7	2	1	6	2	9	6	5		1	39
旅館・ホテル業務員	4	7	10	18	13	33	19	2		7	113
雑 務 員	3	3	4	11	13	12	12	7	1	5	71
監 督 者					1	2	3	2		1	9
その他の職務	1				1	5	5	1		3	16
分類不能	1			1			1				3
合 計	105	111	106	285	285	512	322	207	11	83	2,027
(%)	(5.2)	(5.5)	(5.2)	(14.1)	(14.1)	(25.3)	(15.9)	(10.2)	(0.5)	(4.1)	(100)

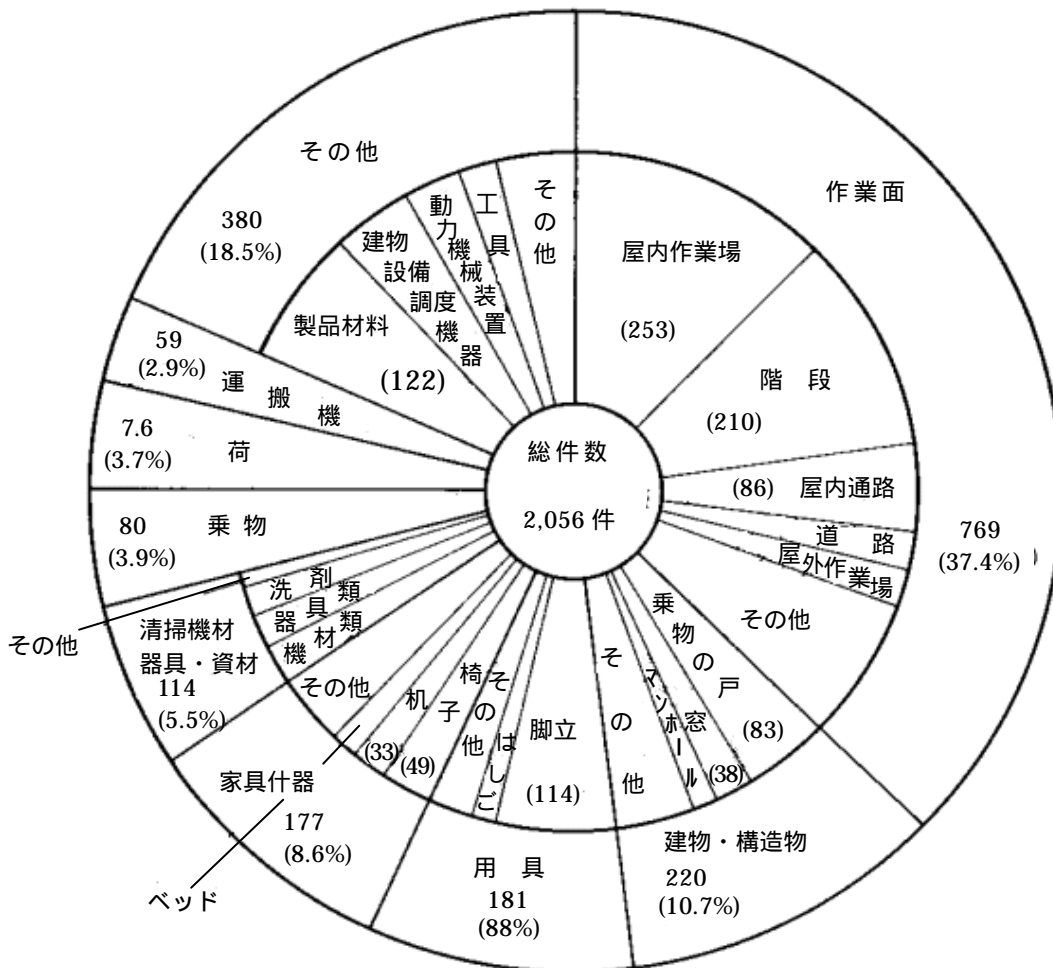
経験期間（年数）別では、「2～5年」のものが512人（25.3%）と全体の1/4を占めている。次に「5～10年」が322人（15.9%）、「6ヶ月～1年」及び「1～2年」が285人（14.1%）の順に多い。

(5) 職種別・作業の種類別死傷者数

	清掃作業	建築物内部清掃作業	建築設備清掃・洗淨作業	建築物外部清掃作業	乗物清掃作業	屋外清掃作業	廃棄物処理作業	屋外施設清掃作業	その他の清掃作業	設備の運転作業	施設・設備等の点検整備作業	運搬作業	保安・警備作業	ビル等総合管理作業	ビル・旅館・ホテル等のサービス作業	その他の作業	分類不能	合計
清掃作業員	1,012	742	23	103	11	48	53	27	5	1	3	128	10	1	13	217	3	1,388
環境衛生管理作業員	58		2			1	53	1	1	3	6	43				4		114
設備の運転作業員	2	1	1							9	11	4				5		31
建物・設備の点検整備作業員	4	1			1	1		1			83	7	1			12		107
保安・警備員	2					1	1						4	70		10		86
建物・施設管理人	3			2				1					7	2	11	15		38
管理サービス係員												4	1	2	3	2		12
事務・技術員	1					1						17	1	1	6	13		39
旅館・ホテル業務員	11	9	1				1				1	16	1		71	13		113
雑務員	5	4						1		1		33	1	1	22	8		71
監督者	3	3									2	1		1		2		9
その他の職務	1											4	2			11		16
分類不能																2	1	3
合計 (%)	1,102 (54.4)	760 (37.5)	27 (1.3)	106 (5.2)	12 (.6)	52 (2.6)	108 (5.3)	31 (1.5)	6 (.3)	14 (.7)	106 (5.2)	268 (13.2)	87 (4.3)	17 (.8)	115 (5.7)	314 (15.5)	4 (.2)	2,027 (100)

作業の種類別では、「清掃作業」が1,102人(54.4%)と最も多く、次に「運搬作業」268人(13.2%)が多い。また、「その他の作業」で、現場での移動中あるいは出勤途中での災害が多い

(6) 起因物別死傷者数

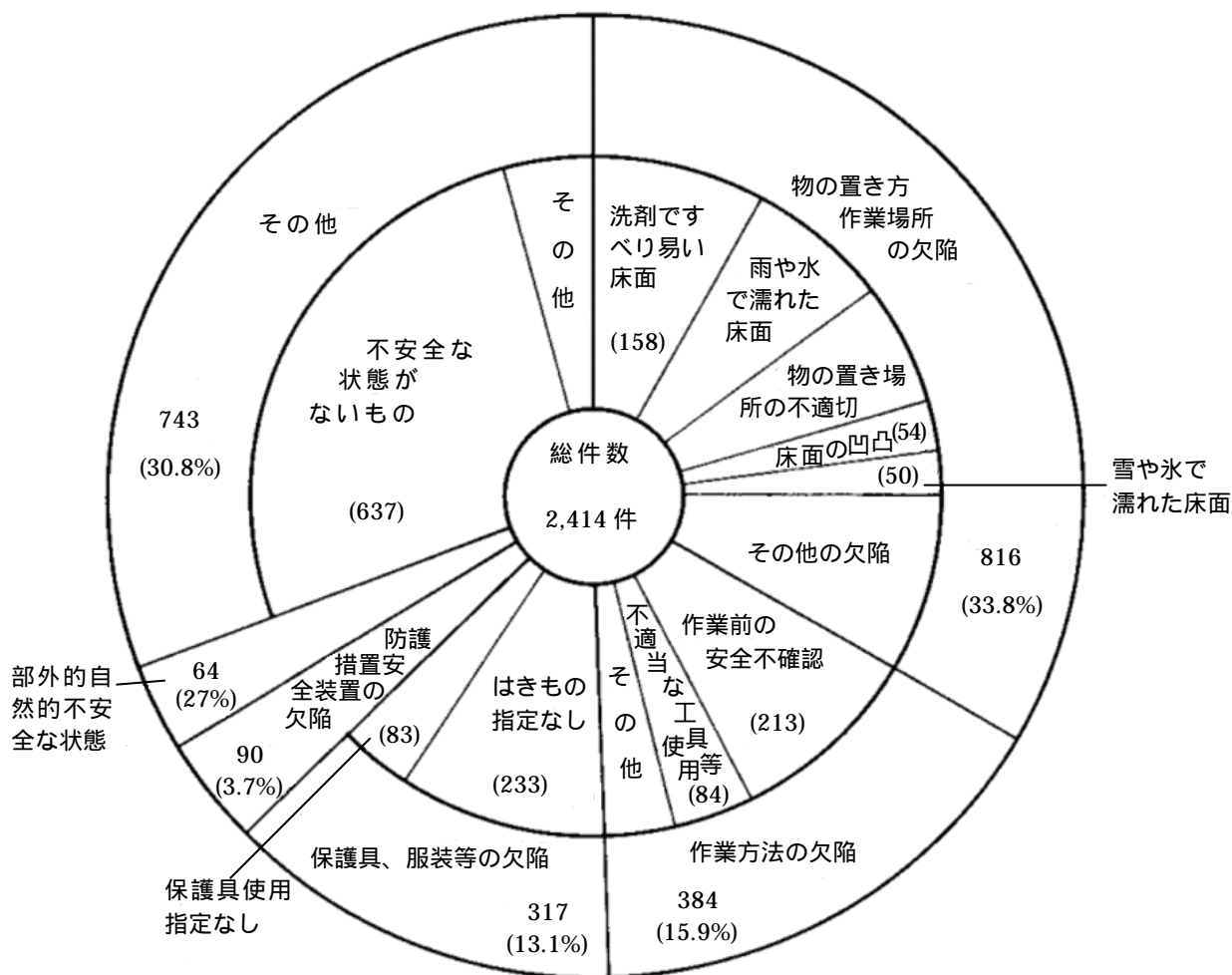


起因物(火災をもたらすもとになった機械、装置もしくはその他の物または環境等)別では、屋内の作業場・通路・階段等の「作業面」(37.4%)が最も多い。次に、建物・構造物(10.7%)、「用具」(8.8%)、「什器、家具」(8.6%)の順に多い。

重複回答のため、総件数は2,027件をこえている。



(8) 不安全な状態別死傷者数



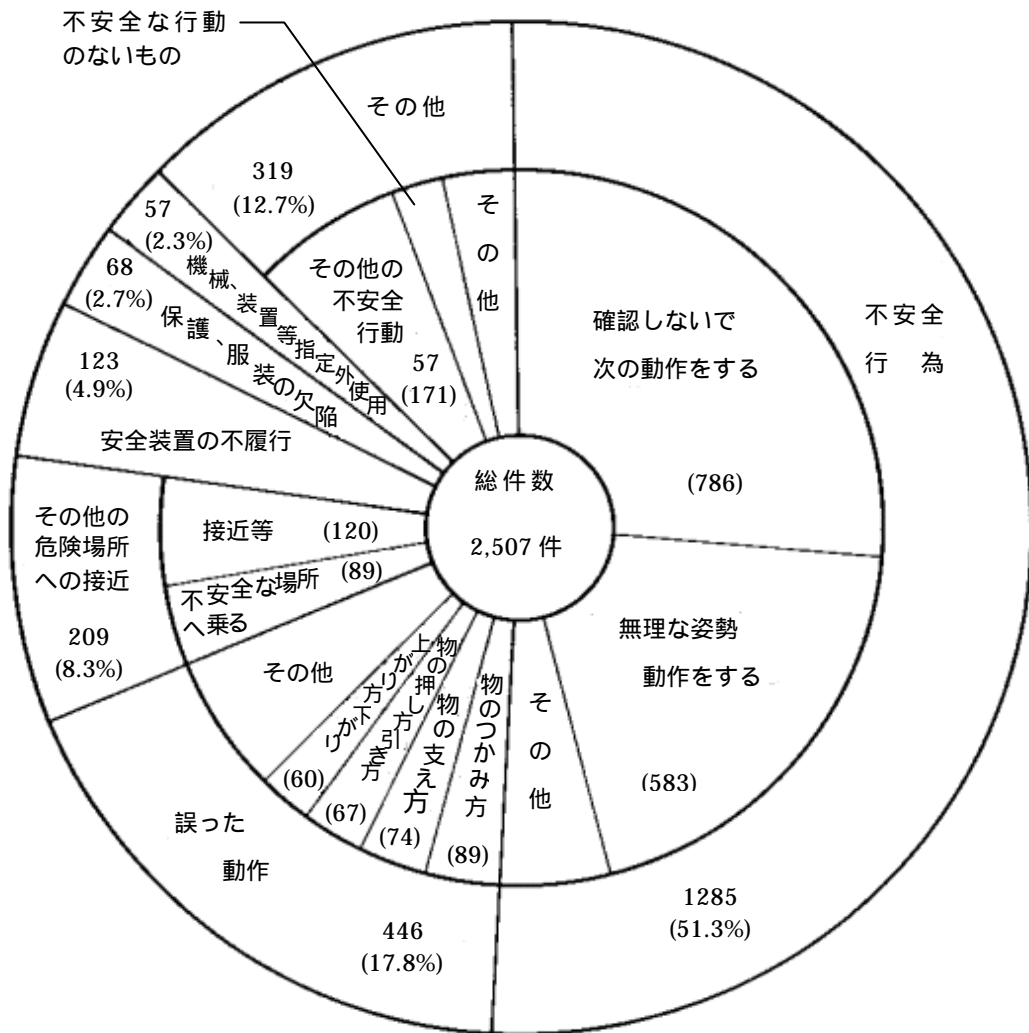
不安全な状態（災害を起こしそうな状態又は事故の起因を作り出している状態）別では、床面が洗剤等で滑り易くなっていた、床面が凹凸状態にあったとする「作業場所の欠陥」の占める割合が高く、次に「物の置き方の欠陥」（15.9%）、「保護具・服装等の欠陥」（13.1%）の順に多い。

重複回答のため、総件数は 2,027 件をこえている。

注 不安全な状態の分類名と説明

分 類 名	説 明
<p>物の置き方、作業場所の欠陥            通路が確保されていない            作業箇所の間隔空間の不足            機械、装置、用具、什器の配置の欠陥            物の置き場所の不適切</p> <p>物の積み方の欠陥            物のたてかけ方の欠陥</p> <p>部外的、自然的な不安全な状態            物自体の欠陥（部外の）            防護措置の欠陥（ " ）            物の置き方、作業場所の欠陥（部外の）            作業環境の欠陥（ " ）            交通の危険</p> <p>作業方法の欠陥            不適当な機械、装置の使用</p> <p>不適当な工具、用具の使用            作業手順の誤り            技術的、肉体的な無理</p> <p>防護措置・安全装置の欠陥            防護・安全装置がない（取りはずされた            ままで放置されている場合を含む）            防護安全装置が不完全            接地又は絶縁なし、不十分            遮蔽なし、不十分            区画、表示の欠陥</p> <p>作業環境の欠陥            換気の欠陥</p> <p>物自体の欠陥            設計不良</p> <p>構成材料、工作の欠陥            老朽、疲労、使用限界            故障未修理            整備不良</p> <p>保護具・服装等の欠陥            はき物を指定していない            手袋の使用禁止をしていない            その他保護具を指定していない            その他服装を指定していない</p> <p>その他及び分類不能            その他の不安全な状態            不安全な状態がないもの</p>	<p>衛生環境的なものは、環境の欠陥に分類する。</p> <p>置くべきでないところに置かれていたことで、通路が確保されていないことになるものを除く。</p> <p>倒れ止め、安定が欠如していたことをいう。            部外とは出張作業の先などで管理の及ばない場合をいう。</p> <p>道路施設条件の欠陥、いわゆる「もらい事故」等の場合をいう。            風雨、雷、地形等をいう。            指定され、又は容認されているものをいう。共同作業者の不安全行為を含む。            本来、その機械で加工すべきでないのに、その作業方法が常態としてとられている場合などをいう。</p> <p>機械的な危険に対するものをいう。設計不良に分類されるものを除く。            上に同じ。</p> <p>熱、放射線などに対するものをいう。            危険物等に対するものをいう。            照明、温湿度、換気等の欠陥をいう。</p> <p>機械、装置、工具、用具、作業面等についてである。            動力伝導機構のカバー等ユーザーでも簡単につけられるような防護がないものは、防護措置の欠陥に分類する。例えば、不必要に部品が突き出していた、機能的に欠陥があった、強度がない、あるべきインタロック装置がない、などをいう。</p> <p>点検整備の不良と考えられるものをいう。            いずれも使用し、または使用禁止すべきものについてである。</p> <p>専ら本人の不安全行動によるものをいう。</p>

(9) 不安全な行動別死傷者数



不安全な行動（災害の要因となったヒトの不安全な行動）別では、「確認しないで次の動作をする」「無理な姿勢動作をする」といった、いわゆる不安全行為によるものが過半数を占める。

次に「誤った動作」（17.8%）、「その他の危険場所への接近」（8.3%）の順に多い。

重複回答のため、総件数は2,027件をこえている。

注 不安全な行動の分類名と説明

分 類 名	説 明
<p>誤った動作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荷などの持ち過ぎ</li> <li>物の支え方の誤り</li> <li>物のつかみ方が確実でない</li> <li>物の押し方、引き方の誤り</li> <li>上り方、下り方の誤り</li> </ul> <p>運転の失敗（乗物）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スピードの出し過ぎ</li> <li>その他の不安全な行動で</li> </ul> <p>その他の不安全な行為</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道具の代りに手などを用いる</li> <li>荷の中ぬき、下ぬきをする</li> <li>確認しないで次の動作をする</li>   <li>手渡しの代りに投げる</li> <li>飛び下り、飛びのり</li> <li>不必要に走る</li> <li>いたずら、悪ふざけ</li> </ul> <p>危険場所への接近</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動いている機械、装置等に接近し又は触れる</li> <li>つりに荷に触れ、下に入り又は近づく</li> <li>危険有害な場所に入る</li> <li>確認なしに崩れやすい物に乗り又は触れる</li> <li>不安全な場所へ乗る</li> </ul> <p>危険な行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>違反行為者を追いかける</li> <li>違法行為者ともみ合う</li> </ul> <p>その他の不安全な行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不安全な行動のないもの、分類不能</li> <li>不安全な行動のないもの</li> <li>分類不能</li> </ul>	<p>分量の多過ぎ、重過ぎを含む。</p> <p>持ち方、かつぎ方等をいう。</p> <p>受とる場合を含む。箸、ピンセットで持つ場合も含む。</p> <p>いわゆる「もらい事故」を除く。</p> <p>乗物については、運転の失敗に分類する。</p> <p>ブラッシの代りに手を用いたり、脚立の代りに肩車をするなどをいう。</p> <p>安全の確認を必要とされるものについてである。未燃ガスを排除しないで点火するなどを含む。</p> <p>危険な行動とは、警備員等が業務上行う下記の行為等であって不安全行動として分類することが不適当と思われるもの。</p> <p>スリ、万引き、泥酔者等</p> <p>スリ、万引き、泥酔者等</p>



(10) 年齢階級別・傷病の程度別死傷者数

年 齢 階 級 \ 程 度	死 亡	永 久 全 労 働 不 能	永 久 一 部 労 働 不 能	休 業 一 月 以 上	休 業 四 日 以 上 一 月 未 満	分 類 不 能	合 計
17歳以下	1			1	4		6
18歳以上19歳以下				6	6	2	14
20歳以上24歳以下	2			22	31	4	59
25歳以上29歳以下	1		1	14	22		38
30歳以上34歳以下	1		1	24	25	1	52
35歳以上39歳以下				30	45	2	77
40歳以上44歳以下	1			38	65	1	105
45歳以上49歳以下			1	62	87	2	152
50歳以上54歳以下	3		3	151	178	3	338
55歳以上59歳以下	2			253	271	3	529
60歳以上64歳以下	2		2	196	188	5	393
65歳以上69歳以下			1	102	91	4	198
70歳以上	1			34	30	1	66
合 計	14		9	933	1,043	28	2,027
(%)	(.7)		(.4)	(46.0)	(51.5)	(1.4)	(100)

死傷者総数 2,027 人中、死亡者は 14 人 (0.7%) であった。死亡者の主な内訳は窓掃除作業時の「墜落」が 5 件と最も多い。その他に、施設の整備、点検中の「墜落」が 3 件、脚立、はしごを使用して「転倒・転落」したものが 2 件みられた。

また、死亡者 14 人中 8 名が 50 歳以上の高齢者である。更に、ケガの程度を 50 歳以上とそれ未満の年代の休業日数で比較すると、休業 1 ヶ月以上では、78%、4 日以上 1 ヶ月未満では 73% といずれも高齢者の占める割合が高い。(災害事例は 4-2 を参照)

## (11) 作業の種類別・年齢階級別死傷者数

作業の種類	年齢階級													合計
	一七歳以下	一八歳以上一九歳以下	二〇歳以上二四歳以下	二五歳以上二九歳以下	三〇歳以上三四歳以下	三五歳以上三九歳以下	四〇歳以上四四歳以下	四五歳以上四九歳以下	五〇歳以上五四歳以下	五五歳以上五九歳以下	六〇歳以上六四歳以下	六五歳以上六九歳以下	七〇歳以上	
清掃作業	5	12	30	20	22	39	50	81	190	285	216	113	39	1,102
設備の運転作業			1	1	1				2	4	4		1	14
施設・設備等の点検整備作業		2	8	6	10	14	2	8	8	21	15	10	2	106
運搬作業			7	4	7	10	19	15	52	66	50	31	7	268
保安・警備作業			2	1		2	2	6	11	31	24	7	1	87
ビル等総合管理作業					1		2	3	1	7	1	12		17
ビル・旅館・ホテル等のサービス作業			2	1		4	15	19	27	27	14	2	1	115
その他の作業	1		9	5	8	8	14	19	47	87	68	33	15	314
分類不能							1	1		1	1			4
合計 (%)	6 (.3)	14 (.7)	59 (2.9)	38 (1.9)	52 (2.6)	77 (3.8)	105 (5.2)	152 (7.5)	338 (16.7)	529 (26.1)	393 (19.4)	198 (9.8)	66 (3.3)	2,027 (100)

災害件数の多い、清掃作業、運搬作業について、その年齢階級の分布をみると、いずれも50歳以上のものが75%以上を占めている。

施設・設備等の点検整備作業では、50歳以上とそれ未満の者は、ほぼ同数となっている。

(12) 作業の種類別・事故の型別死傷者数

作業の種類	事故の型													合計
	墜落・転落	転倒	飛来・落下物にあたる	激突	激突され	はさまれ	切れ・こすれ(すりむき)	激しい動作	爆発・破裂	有害物との接触等	交通事故	その他	分類不能	
清掃作業	256	454	63	62	36	69	54	68	9	9	4	18		1,102
設備の運転作業	4	2		1		3		2	1			1		14
施設・設備等の点検整備作業	39	9	9	6	1	16	2	15	1	1		7		106
運搬作業	31	72	41	13	6	47	9	42			3	4		268
保安・警備作業	12	32	7	9	5	5	3	12			1	1		87
ビル等総合管理作業	6	5	1	1	1	1		1	1					17
その他の作業	56	146	4	14	15	17	7	14			28	11		314
分類不能	2	2												4
合計 (%)	420 (20.7)	748 (5.7)	134 (6.6)	119 (5.9)	64 (3.2)	172 (8.5)	93 (4.6)	174 (8.6)	12 (.6)	10 (.5)	36 (1.8)	43 (2.1)	2 (.1)	2,027 (100)

清掃作業における事故の型で最も多いのは「転倒」で全体の41%を占めている。次に「墜落・転落」で23%を占める。その他、「飛来・落下物に当たる」「激突」「はさまれ」災害も少なくない。運搬作業においても「転倒」が最も多いが、「激しい動作」による災害も多い。点検・整備作業においては「墜落・転落」が最も多い。

(13) 作業の種類別・不安全な状態別死者数

作業の種類	不安全な状態									
	物自体の欠陥	防護措置・安全装置の欠陥	物の置き方・作業場所の欠陥	保護具・服装等の欠陥	作業環境の欠陥	部外的・自然的に不安全な状態	作業方法の欠陥	その他	分類不能	合計
清掃作業	30	51	503	242	4	19	196	316	10	1,102
建築物内部清掃作業	18	31	386	178	3	3	114	222	8	760
建築設備清掃・洗浄作業	2	1	8	2			7	11		27
建築物外部清掃作業	2	6	34	36	1	6	33	23		106
乗物清掃作業	2	1	1	1			2	7		12
屋外清掃作業	1		17	10		6	10	12	1	52
廃棄物処理作業	3	11	44	10		4	22	27		108
屋外施設清掃作業		1	12	5			5	14		31
その他の清掃作業	2		1				3		1	6
設備の運転作業		3	5	2	1		1	5	1	14
施設・設備等の点検整備作業	2	15	29	11	1	1	37	25		106
運搬作業	4	6	100	33	2	5	71	91		268
保安・警備作業		2	38	2	3	4	21	26		87
ビル等総合管理作業			6	1			3	9		17
ビル・旅館・ホテル等のサービス作業	2	4	31	8	1	2	29	51	1	115
その他の作業	3	9	104	18	5	31	26	146	2	314
分類不能						2		1	1	4
合計 (%)	41 (2.0)	90 (4.4)	816 (40.3)	317 (15.6)	17 (.8)	64 (3.2)	384 (18.9)	670 (33.1)	15 (.7)	2,027 (100)

清掃作業における不安全な状態で最も多いのは、「物の置き方、作業場所の欠陥」(45.6%)で、このなかでも床面等が洗剤、水等で滑りやすい状態の中での災害が多い。また、「保護具、服装等の欠陥」による災害が約22%を占めている。運搬作業においては「物の置き方・作業場所の欠陥」が最も多いが「作業方法の欠陥」とりわけ、「作業前の安全未確認」による災害も多い。

(14) 作業の種類別・不安全な行動別死傷者数

作業の種類 不安全な行動	不安全な行動											合 計	
	安全措置の不履行	不安全な放置	危険な状態を作る	機械・装置等の指定外の使用	除・注油・修理・点検等	運転中の機械・措置等の掃	保護・服装の欠陥	その他の危険場所への接近	その他の不安全行為	運転の失敗	誤った動作		その他
清掃作業	56	8	4	36	7	49	119	698	2	203	138	7	1,102
設備の運転作業		2	1	1	2	1		7		2	2		14
施設・設備等の点検整備作業	9	2	1	12	5	3	19	68		23	5	1	106
運搬作業	33		4	3		7	25	185	3	103	12		268
保安・警備作業	5	2		1		1	9	57	2	18	10		87
ビル等総合管理作業	1	1					3	14		3			17
ビル・旅館・ホテル等のサービス作業	2	2		2	1	5	5	72	2	31	12	1	115
その他の作業	17	2		2	1	2	29	182	17	63	54	4	314
分類不能								2			1	1	4
合計 (%)	123 (6.1)	19 (.9)	10 (.5)	57 (2.8)	16 (.8)	68 (3.4)	209 (10.3)	1,285 (63.4)	26 (1.3)	446 (22.0)	234 (11.5)	14 (.7)	2,027 (100)

清掃作業における不安全行動では、「確認しないで次の動作に移ったり」「無理な姿勢・動作をする」中での災害が50%以上を占めている。

運搬作業、点検整備作業においても、同様の傾向がみられる。

(15) 事故の型別・年齢階級別死傷者数

事故の型	年齢階級													合計
	一七歳以下	一八歳以上一九歳以下	二〇歳以上二四歳以下	二五歳以上二九歳以下	三〇歳以上三四歳以下	三五歳以上三九歳以下	四〇歳以上四四歳以下	四五歳以上四九歳以下	五〇歳以上五四歳以下	五五歳以上五九歳以下	六〇歳以上六四歳以下	六五歳以上六九歳以下	七〇歳以上	
墜落・転落	2	7	21	10	16	18	23	38	59	90	74	41	21	420
転倒	1	1	7	6	5	13	32	51	121	232	167	84	28	748
飛来、落下物にあたる			3	4	3	8	3	9	27	31	27	16	3	134
激突		1	4	3	2	5	6	7	26	26	24	13	2	119
激突され			2	1		3	2	4	9	19	18	6		64
はさまれ		2	11	8	8	7	11	12	37	41	23	10	2	172
切れ、こすれ(すりむき)	2	1	8	2	4	6	12	8	13	14	19	10	2	93
激しい動作		1	3	2	7	13	12	14	30	49	25	12	3	174
爆発・破裂			1		1	1			2	5	1		1	12
有害物との接触等			1	1	2			1		4	1			10
交通事故			2	1	3	2	1	3	7	8	5	3	1	36
その他	1	1	1		1	1	3	4	7	10	8	3	3	43
分類不能								1			1			2
合計 (%)	6 (.3)	14 (.7)	59 (2.9)	38 (1.9)	52 (2.6)	77 (3.8)	105 (5.2)	152 (7.5)	338 (16.7)	529 (26.1)	393 (19.4)	198 (9.8)	66 (3.3)	2,027 (100)

事故の型による年齢階級の死傷者数を50歳以上とそれ未満とで比較すると、最も多い「転倒」で5.4倍、「墜落・転落」で2.1倍「激しい動作」で2.2倍、その他の型においても同様に高年齢層が高くなっている。

(16) 事故の型別・不安全な状態別死傷者数

事故の型 不安全な状態	不安全な状態								合計
	物自体の欠陥	防護措置・安全装置の欠陥	物の置き方・作業場所の欠陥	保護具・服装等の欠陥	作業環境の欠陥	作業方法の欠陥	その他	分類不能	
墜落・転落	9	24	120	58	2	126	145	2	420
転倒	3	7	476	199	7	38	202	11	748
飛来、落下物にあたる	9	5	47	30	1	46	25		134
激突		5	51	6		22	47		119
激突され	1	4	19	5		19	21		64
はさまれ	10	36	37	1	6	42	55		172
切れ、こすれ(すりむき)	7	25	21	3		26	34	1	93
激しい動作	1	7	20			40	116		174
爆発・破裂		4	8	2		3	2		12
有害物との接触等			2	4	1	1	2		10
交通事故			3			8	7		36
その他	1	2	12	9		13	12	1	43
分類不能							2		2
合計 (%)	41 (2.0)	90 (4.4)	816 (40.3)	317 (15.6)	17 (.8)	384 (18.9)	670 (33.1)	15 (.7)	2,027 (100)

「転倒」の原因としては、「床面等洗剤・水等で滑り易い状態」にあったことによるものが多いが、「はきものを指定していない」場合の災害も多い。「墜落・転落」では、不適當な用具を使用したり、作業前の安全未確認による災害が多い。「激しい動作」においては、「技術的・肉体的な無理」によるものが多い。

(17) 事故の型別・不安全な行動別死傷者数

事故の型 不安全な行動	安全措置の不履行	不安全な放置	危険な状態を作る	機械・装置等の指定外の使用	運転中の機械・装置等の掃除・注油・修理・点検等	保護・服装の欠陥	その他の不安全行為	運転の失敗	誤った動作	その他	分類不能	合計
墜落・転落	8	3	1	39		26	297	2	87	36	2	420
転倒	6	7	2	3		4	534	4	20	111	11	748
飛来、落下物にあたる	17	3	2	2		14	49		71	12		134
激突	5		1			3	103		14	7		119
激突され	21			2			22		21	9		64
はさまれ	44	1	1	5	12	1	75		74	12		172
切れ、こすれ(すりむき)	6	2		2	2	8	43		42	11		93
激しい動作			2	1			135			17		174
爆発・破裂	4			1		4	4					12
有害物との接触等	1					4	4			1		10
交通事故	8						8	19	2	4	1	36
その他	3	3	1	2	2	4	9	1	6	14		43
分類不能							2					2
合計 (%)	123 (6.1)	19 (.9)	10 (.5)	57 (2.8)	16 (.8)	68 (3.4)	1,285 (63.4)	26 (1.3)	446 (22.0)	234 (11.5)	14 (.7)	2,027 (100)

「転倒」「墜落・転落」を起こした時の作業者の行動では、「確認しないで次の動作をする」「無理な姿勢・動作をする」との関連が高い。

また、「墜落・転落」「飛来、落下物にあたる」「はさまれ」に対しては「誤った動作」との関連も高い。



(18) 起因物別・事故の型別死傷者数

起 因 物	事故の型													合 計
	墜落・転落	転倒	飛来・落下物にあたる	激突	激突され	はさまれ	切れ・こすれ(すりむき)	激しい動作	爆発・破裂	有害物との接触等	交通事故	その他	分類不能	
動力伝導機構・加工機械等		1	4	1	3	23	3	1				2		36
物揚げ装置	1	6		3		10								20
運搬機	7	5	2	7	6	20		6			4	2		59
乗物	7	15	1	5	6	7		7			30	2		80
機器附属装置等	2	2	8	5		3	3	5				1		29
手工具		2	3		1	1	25	2						34
用具	141	24	7	4		3		2						181
清掃機械、器具、資材	7	48	9	2	12	8	6	18		3		1		114
建物、構造物	44	25	11	27	16	79	8	9			1			220
什器・家具	43	24	40	16	5	16	8	25						177
金属材料		7	10			1	2	2				1		23
ガラス・陶磁器・セメント製品		1	7	1		2	22	1						34
その他の製品、材料	3	12	5		1		5	5			1	11		43
荷		8	16	1	1	4	6	35	5					76
作業面	161	541	1	34	1	3		22				5	1	769
自然環境	4	10		5	8		1	1		1		7		37
その他及び分類不能	4	22	10	8	4	10	4	33	7	6		13	1	122
合 計 (%)	420 (20.7)	748 (36.9)	134 (6.6)	119 (5.9)	64 (3.2)	172 (8.5)	93 (4.6)	174 (8.6)	12 (.6)	10 (.5)	36 (1.8)	43 (2.1)	2 (.1)	2,027 (100)

起因物の40%は「作業面」で占められるが、それに対応する事故の型の大多数が「転倒」「墜落・転落」である。「建物・構造物」に対しては「はさまれ」「墜落・転落」が多い。また、「用具」とりわけ脚立を使用しての「墜落・転落」が多い。その他、加工機械・装置使用時の災害が200件程度あるが、その約30%が「はさまれ」によるものである。

## 4 - 2 災害事例

	年 齢	性 別	経 験	作 業	障 害	程 度	発 生 状 況
1	59	女	3	床 清 掃	左手骨折	57日	床に塗布したワックスが十分乾いていないことを知らずに通行したところ、足を滑らせ転倒し、左手を床面につき受傷した。
2	58	女	6ヶ月	床 清 掃	右手骨折	5ヶ月	床面に剥離剤を塗布していて、バランスを崩して転倒した。
3	55	女	6.5	床 清 掃	膝 骨 折	2ヶ月	清掃作業中、次の場所へ移動する際に、約 2cm の段差でつまずき、転倒した。
4	54	女	9	床 清 掃	親指骨折	20日	床洗浄作業中、ワックスを乾燥させる送風機にコードがからんでいたため、直そうとスイッチを切らず手をかけたところ、回転中の羽の部分に指が触れた。
5	42	女	16	床 清 掃	右胸軟骨の損傷	1ヶ月	作業開始のため、横倒しにしておいたポリッシャーの電源を入れたところ、ポリッシャーが動いて回転部分が胸に当たった。
6	63	男	10	床 清 掃	胸部打撲	14日	ポリッシャーを使用して清掃中、床のコンセントのネジの部分がポリッシャー下部のパット部分にからみ、ポリッシャーが激しくゆれ、ハンドルで胸を強打した。
7	46	女	?	床清掃準備	足指の打撲、骨折	30日	床洗浄作業のため、同僚とソファ（175×70cm 約 45kg）

	年 齢	性 別	経 験	作 業	障 害	程 度	発 生 状 況
							を移動中、右手を滑らせソファを右足の上におとした。
8	62	女	6ヶ月	床清掃準備	手首骨折	45日	ロッカー上に段ボール箱を乗せるため、事務用椅子を足台にしたところ椅子が滑り、転落した。
9	58	女	14	清掃準備	火 傷	5日	熱湯を入れたバケツをもって湯沸室より出る際に、出入口に敷いてあったマットにつまずき転倒し、バケツの湯を顔面に浴びた。
10	63	男	3ヶ月	清掃準備	左足甲部骨折	30日	3段に積まれたワックス缶(20l入り)を取り出すため、上段の缶の吊手を片手で持ち上げたところ、想像以上に重く、手を滑らせ、缶を足に落とした。
11	56	男	7ヶ月	清掃準備	指の骨折	6週間	移動式折りたたみ梯子をたんでいて、指をはさんだ。
12	47	男	2ヶ月	屋内硝子清掃	足指骨折	45日	硝子窓清掃のため、脚立に登ったところ、掛金がはずれ、脚立の脚が開いて転落した。
13	18	男	8ヶ月	天井清掃	手首骨折	1ヶ月	移動式タワー(地上2m)に乗り、会館ロビー天井の清掃作業中、足を踏み外し、床面に墜落した。
14	54	男	8ヶ月	階段の清掃	アキレス腱の切断	45日	階段、天井部の清掃作業中、ハタキの長柄が足にひっかかり転倒し、階段から転げ落ちた。

	年齢	性別	経験	作業	障害	程度	発生状況
15	63	男	3	蛍光灯の清掃	全身打撲	死亡	脚立に乗り、蛍光灯器具を清掃中、蛍光灯の枠を外すため、力を入れて引いたところ、バランスを失って墜落した。
16	61	女	2	エスカレーターの清掃	膝関節挫傷	16日	エスカレーターの清掃中、足を滑らせて転倒した。
17	69	女	10	エレベーターの清掃	腕の骨折	3週間	エレベーターの床を清掃して外へ出ようとした時、ドアが閉まりかけ腕をはさまれた。
18	61	女	7	建屋のアク洗い作業	過敏性肺炎	3ヶ月	数年前より、専ら木造住宅のアク洗い作業に薬品（商品名レブライト）を使って就業していたところ、しばしば咳が出るようになり診断を受けた。
19	22	男	2	コンクリートのアク取り	腕の火傷	14日	希塩酸を使用して、建屋コンクリートのアク取り作業をしていたところ、塩酸液が右腕に付着した。
20	59	男	?	塵芥処理作業	胸部打撲	1ヶ月	据置塵芥収集ロータリーに入れたゴミが詰まったので、電源を切って、ロータリー内でゴミを取り出していたところ、他の作業者がスイッチを入れたため、ロータリー内の送り羽根で胸を強打した。
21	65	男	1ヶ月	塵芥処理準備作業	手甲裂傷	10日	ゴミ回収用の手押車を傾斜のついた通路を後向きに引いていたところ、車にはずみがつき、押され

	年齢	性別	経験	作業	障害	程度	発生状況
							て背面にあった建屋の壁面に激突した。
22	56	女	2ヶ月	塵芥処理作業	接触性皮膚炎	25日	病院にて収集されたゴミの仕分け作業中、化学薬品の付着したビンに触れ、両手に皮膚炎をおこした。
23	53	女	4	塵芥処理作業	指の骨折	9日	病院にて、ポリ袋に入ったゴミを運ぶため、袋をつかんだところ、中に入っていた注射針を指に突き刺した。
24	54	男	5	ゴミ焼却	火傷	10日	ゴミを焼却していたところ、混入していたライター用ガスボンベが突然爆発し、顔面を火傷した。
25	57	女	2	屋外清掃	脳挫傷	死亡	建屋の正面入口付近の通路を清掃していたところ走行してきた乗用車にはねられた。
26	50	女	6ヶ月	屋外清掃	足指骨折	30日	植込みの落葉を清掃中、コンクリート製の側溝（巾 30cm、深さ 38cm）へ転落した。
27	39	女	2	屋外清掃	足首捻挫	10日	門扉（鉄製）のレール溝を清掃するため門扉をストッパー位置まで移動した際に、足をひっかけ門扉枠に足を挟んだ。
28	65	女	5	池の清掃	前腕骨折	42日	徒渉池をデッキブラシで水洗い中、足を滑らせ転倒し、手をついた。

	年齢	性別	経験	作業	障害	程度	発生状況
29	27	男	3ヶ月	草刈作業	左目負傷	10日	草刈作業中、草刈機にはじかれた小石が目に入った。
30	52	女	7	除雪作業	指の骨折	3週間	通用口の除雪作業中、除雪機に詰まった雪を取り除こうとして、機械の歯車に手指を巻きこまれた。
31	53	男	2	設備点検	腰部捻挫	12日	重油タンクの検尺を行うためにマンホール蓋を持ちあげたところ腰を痛めた。
32	55	男	4	設備点検	肋骨骨折	1ヶ月	ボイラー室にて、高さ約2mの脚立に登り、油タンクを点検中、バランスを失って墜落し、コンクリート床面や真空ポンプに胸等を強打した。
33	59	男	30	設備点検	電撃症	7日	電撃室で表示ランプの交換作業を行っていたところ、高圧動力盤上部に設置されている断路器端子に左ヒジが触れ、電撃を受けた。
34	61	男	3	設備点検	指関節切断	9日	機械室にて、空調機の軸受けグリスアップ作業中、ベルトの緩みを発見し、手を入れ、ベルトの状態を確かめていたところ、指をはさまれた。
35	19	男	4ヶ月	設備補修	親指挫傷	2週間	配管内の清掃を行い、接続部のキャップを取りつけていたところ、スパナが滑り、親指をはさんだ。

	年 齢	性 別	経 験	作 業	障 害	程 度	発 生 状 況
36	50	男	2	水銀灯交換 作業	脳挫傷	死 亡	体育館天井の水銀灯の電球交換 作業を行っていたところ、バラン スを崩して墜落した。 (安全ベルトを使用してなかつ た)
37	35	男	1	水槽の点検	膝関節裂傷	3週間	高架水槽の水もれ点検のため、 鉄梯子を昇っていて中段(1m上) から足を滑らせ転落した。